

# 二酸化炭素分布情報格子点値(モデル面)

二酸化炭素分布情報は、気象庁が解析した全球の二酸化炭素月平均濃度分布の情報です。

## ① 二酸化炭素分布情報格子点値の詳細情報

データ内容	二酸化炭素月平均濃度解析値(ppm) 全球等緯度経度(2.0 度格子)、鉛直 60 層(モデル面)データ
ファイル名	3D_concentration_[YYYY].nc (YYYY : 解析年)
データ期間	1985 年 1 月～2021 年 12 月(2024 年 1 月現在)
データ形式	NetCDF 形式
更新頻度・更新時期	毎年1回・2 月頃
備考	各モデル面の厚さの算出のため月平均地上気圧(p_surf[hPa])とモデル面気圧(各層の下端の気圧)への変換係数(ak[hPa],bk[1])を記録。 変換式は $p(k)=ak(k)+bk(k)*p\_surf$

## ② 二酸化炭素分布情報の解析手法の概要

解析手法	二酸化炭素輸送モデル+逆解析
モデル分解能	緯度 2.0 度×経度 2.0 度格子、鉛直 60 層(σ-P ハイブリッド座標)
CO <sub>2</sub> フラックス(排出量・吸収量)基本データ	化石燃料燃焼、植生、海洋の放出量および吸収量を与えている
CO <sub>2</sub> フラックス変動を推定する領域数	陸地 11+海洋 11
CO <sub>2</sub> 濃度観測データ	気象庁の観測データ(地上観測所、海洋観測船、航空機)、温室効果ガス世界資料センター(WDCGG)に報告された観測データのうち観測機関から使用の同意を得られたもの

## ③ 二酸化炭素分布情報格子点値の公開ページ(英語)

URL: [https://www.data.jma.go.jp/ghg/kanshi/co2data/co2\\_mapdata\\_e.html](https://www.data.jma.go.jp/ghg/kanshi/co2data/co2_mapdata_e.html)

## ④ 二酸化炭素分布情報の計算手法の解説

URL: [https://www.data.jma.go.jp/ghg/kanshi/info/calc\\_info.html](https://www.data.jma.go.jp/ghg/kanshi/info/calc_info.html)